

## 参加報告書

所 属 東予U-12・

車いす

氏 名 今城 千恵

<講習会・大会名> TOYOTA U-25 日本車いすバスケットボール選手権大会 2018

<期 日> 平成 30年 9月 8日(土) ~ 平成 30年 9月 9日(日)

<会 場> 愛知県豊田市スカイホール豊田

<参加者> 門川浩人・福田典子・菅野英輔・増竹昇・加藤昌樹・岸良太郎・金川光一・今村和成

玉井聡・桜川純平・清水翔太・網谷昭義・光森久敬・紙本昌寿・黒澤亮・神直和・原誠・今城千恵

(敬称略)

<内 容>

審判会議

○菅野氏より

U25の選手ということでホイールワークが未熟であったり、ルールを知らないプレイヤーもいるかもしれないので、審判員の判定で正しいバスケットへ導いてほしい。また審査を受ける方達は、ブロックの代表として自信を持ち最高のパフォーマンスを見せてほしい。

○審査委員長門川氏より 審査について

災害により2名が参加できなくなり、4名になった受講生の条件を同じにするため、B級と2人のC級のクルーに分けることとする。

審査基準として、ゲームコントロール・メカニクス・ガイドライン(プレコーリング)・プレゼンテーションの4項目についてチェックする。車いすが分かってきて、本当にコントロールできるようになるかどうかをみる。

メカニクスでは、プライマリを見て、人のことは見ずに自分のエリアを大事にする。

プレゼンテーションでは、落ち着いて何をコールするのか、TOへ明確に表せているか。

また、最近「動かずに。」と言われる部分があるが、プレーに対応して走る事、動く事は、変わりないのであって、それをしない怠慢さは、絶対駄目である。

1ゲームのみの審査であり、そこで自分のパフォーマンスを十分発揮してほしい。

ルールテストは、20問であり、80点以上が合格である。

○東海ブロック長加藤氏より

今大会のゲームのハーフタイムは、15分で行う。各チームの車検時間と場所について。

事務連絡(本日の大会終了後のスケジュール)

○割当発表

○ルールテスト

○開会式参加

ゲーム① 日時 9月8日(土) 16時45分～ Cコート  
九州選抜 45 対 68 関東選抜B  
CC 玉井聡 氏(東海北陸 B)  
U1 今城千恵(報告者 C)  
U2 黒澤亮 氏(東京 C)

○プレ・ゲーム・カンファレンス

CCより、メカニクスの確認・Lからスタートで、T・Cのローテーションとそのプライマリエリアとアングルについて。キーマンや女子プレイヤーについて。

ショットクロック・タイムアップの担当確認、アイコンタクトをとりながら3人で協力する。

見られるゲームとなるので、緊張するだろうけれど、思い切り行きましょう。とCCより声をかけて頂く。

○ゲーム中

クルーとしてのコミュニケーションが甘く、私たちだけの約束事のローテーションで選手やゲームへの注意が薄くなっていることやベンチからもっと下を見てと言われていることについて共有した。

○反省

自分の悪い癖が出ないか、不安で緊張した。ゲーム中にも話し合ったが、ローテーションの不備に現われたように、協力不足があると上手くいかないと思った。それでも、CCがクルーをまとめてくれる中、この1ゲームのみの評価であり、走る事、位置、アングルそしてプライマリエリアへの集中に注意して、トライした。本当の自分のエリアになっていたかどうか、吹き急がなかったかどうかの不確かさを無くさなければならぬと思った。

審査委員長門川氏より

幾つかのエリア(プライマリ)ミスがあったが、走りこめていたのは、よかった。  
リードでは、もっとローテーション移動にトライすると良い。  
ワッペンを貰って終わりではない、各大会に足を運ぶ事が大切だと言う意味の話を一緒にして頂けた。

ゲーム② 日時 9月9日(日) 12時45分～ Dコート  
関東選抜B 56 対 64 東海北陸選抜  
CC 今村和成 氏(近畿 B)  
U1 紙本昌寿 氏(東海北陸 B1)  
U2 今城千恵(報告者 C→B1)

## ○プレ・ゲーム・カンファレンス

CCより、自分の経験も含め、細かく話し合う。

黒ワッペンでの初ゲームではあるが、どのゲームもやることは同じであり、しっかり判定、プレゼンをして、1ゲーム通して良かったと終れるようにする。

ゲームクロック、ショットクロックは、オポジットで、ビジーの時は反対側がヘルプする。バイオレーション、ファール時は、何秒で消えた、止まったかをしっかり見て、スローイン時に残秒の共有をする。シュート時の2 P or 3 Pのサイン。他のクルーを視野に入れて、アイコン、OKサインで3人により協力しあう。

プライマリエリアを大切にしている、吹き溢し等があっても、焦らずに判定すること。また我慢しきれずに簡単に吹いてしまわないこと。交代は、基本クローズのニューリードがとり、交代の注意事項を確認する。(選手がスムーズにアウトする時には見守るでよい。)

Dコートショットクロックの器具の位置を確認する。

## ○反省

プライマリエリアで見えたものを吹いていくことで、上手くスタートできたと思った。力のあるチームどうしの接触に、位置・アングルの悪さで瞬間的に吹いてしまったアンスポは、ベンチからのクレームをつくってしまったが、クルーとしてCCの対応で、カバーしてもらった。その後、引きずらないためにも切り替えて、しっかりコミュニケーションが取れるように、アイコンタクトをするようにとのCCからのアドバイスで、笛を吹き続けることができた。

ゲームはもちろんだが、同じクルーとして対応できるCCの力に助けってもらった。もっとルールの理解の徹底が必要であり、今まで以上に車いすバスケットを知る努力をしていかなければならないと再認識した。

## <所 感>

北海道地震により2名の参加予定者が、一緒に挑戦できなくなってしまったことは、残念なことでした。被災された方々に、お見舞い申し上げます。

U25とは言え、チームには世界レベルを経験している選手もいて、レベルの高さを感じました。ゲームを通して感じたことでもありますが、ルールの完全理解への努力、他エリアや大会への参加と経験を積み重ねて自分を磨く努力をしていきたいと思います。

ここで会った受講生とは初顔合わせであり、年の差があっても受け入れあって色々な話が出来、また繋がりが出来た事は、うれしかったです。

審査前における、地元や他エリアの大会参加時にアドバイスを頂いたり、協力して下さった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

以上、報告致します。

なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。